JAPANESE
日本語

RANGEXTD

WiFiレンジエクステンダー

取扱説明書

V.3

01

はじめに

自宅または職場の「デッドゾーン」に於ける既存のWiFi信号の拡張には、RangeXTDをリピーターモードで使用するのが最適です。
ルーターモードではRangeXTDがモデムに接続されており、APモードでは既存のワイヤレスルーターに接続されている場合にWiFiルーターとして使用できます。
RangeXTDは、2.4GHzのWiFi接続と最大300Mbpsの速度をサポートします。最適な信号強度を供給するアンテナが2つ内蔵されています。
RangeXTDの安定したテクノロジーは、独自のチャンネル選択機能を使用し、チャンネル干渉を自動的に回避します。

梱包内容

・WiFiエクステンダーx1 / AP /ルーター（デバイス）
・取扱説明書x1
・イーサネットケーブルx1

02

ハードウェア概要

初期設定
URL: **192.168.7.234**
ログインパスワード: **admin**
WiFi SSID: RANGEXTD
WiFiキー：なし

❶ オン/オフ スイッチ
❷ WPSボタン
❸ モードセレクター
❹ ピンホールリセットボタン
❺ WAN / LANポート
❻ LANポート
❼ WiFiインジケーター
❽ 電源/ WPS インジケーター
❾ WAN / LAN インジケーター
❿ LANインジケーター
⓫ AC電源プラグ

WPSボタン:
1回押すとWPSモードが開始、WPSボタンを6秒間押し続けると、デバイスのWPS検索モードがアクティブになります（リピーターモードの場合）。

ピンホールリセットボタン:
3秒間押し続けると、デバイスがリセットされます。

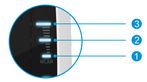
03

LEDインジケーター

電源 / WPS	**オン：**デバイスの電源がオンの状態 **オフ：**デバイスの電源がオフの状態 **ゆっくり点滅：**WPSがクライアント接続を待機中 **速い点滅：**デバイスがAP /ルーターに接続中
LAN WAN/LAN	**オン：**イーサネットポートが接続している状態 **オフ：**イーサネットポートが接続していない状態 **点滅：**データ転送中

WiFi信号強度インジケーター（右図参照）

モード	❶	❷	❸	説明
AP /ルーター	オン	オン	オン	WiFi信号出力電力100%
リピーター	オン	オン	オン	非常に良好な受信 信号強度50%から100%
	オン	オン	オフ	良好な受信 信号強度25%から50%
	オン	オフ	オフ	微弱な受信 信号強度25%未満
	点滅	オフ	オフ	切断



04

はじめに

ワイヤレスネットワークのセットアップ
自宅での一般的なワイヤレス設定（以下表示）の場合は、次の手順を実行します：

ワイヤレスリピーターモード

RangeXTDは、既存のワイヤレス信号をコピーして強化し、インターネットカバレッジを拡張します。このモードは広範囲の**「デッドゾーン」**の排除に特化し、既存のWiFi信号が弱い大きな家、オフィス、倉庫、その他のスペースに最適です。

ワイヤレスAPモード

デバイスが有線ネットワークに接続し、有線インターネットアクセスが無線アクセスに変換され、複数デバイスのアクセス共有を可能にします。このモードは、部屋（特下室など）間に干渉がある場合に最適です。ルーターの影響を受ける領域のRangeXTDまで有線接続を延長し、その領域でWiFiアクセスを取得します。

ルーターモード

RangeXTDがDSLまたはケーブルモデムに接続されている場合、通常のワイヤレスルーターとして機能します。このモードは、DSLまたはケーブルモデムからのインターネットアクセスを1人のユーザーが利用できますが、更に多くの接続が必要な場合に最適です。

06

WiFiリピーターモード設定

WPSボタンで設定

これは、RangeXTDを設定する最も簡単な方法です。まず、ワイヤレスルーターがWPSをサポートしているか確認します。詳細はワイヤレスルーターの取扱説明書をご参照ください。ルーターにWPSボタンがない場合は、このページを飛ばし次ページの「Webブラウザー経由で設定」に従ってください。

ヒント:
RangeXTDをリピーターモードで使用する場合は、LEDシグナルインジケーターが少なくとも2バーを表示する場所に設置してください。もしくは信号が強い他の場所にデバイスを設置してください。

07

手順

1. RangeXTDのモードセレクターは、リピーターモードの**「リピーター」**位置に設定してください。
2. RangeXTDを壁のコンセントに差し込み、デバイスの電源を入れます。
3. RangeXTDのWPSボタンを1～2秒間押します。WPS LEDが約2分間ゆっくり点滅します。
4. この2分の間に、ワイヤレスルーターのWPSボタンを2～3秒押してください。（詳細は、弊社ワイヤレスルーターの取扱説明書をご参照ください。）

説明動画については以下のQRコードをスキャンしてください。

08

RangeXTDは自動的にワイヤレスルーターに接続し、ワイヤレスキー設定をコピーします。RangeXTDのパスワードは、ルーターのパスワードと同じです。再起動の完了後、スマートデバイス（スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなど）のWiFi設定に移動して、新しいSSIDに接続します。

Webブラウザ経由での設定（ルーターにWPSボタンがない場合）

ワイヤレスルーターがWPSをサポートしていない場合は、付属のイーサネットケーブルを介してスマートデバイス（スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなど）に接続するか、ワイヤレス接続でWiFiリピーターモードの設定が可能です。

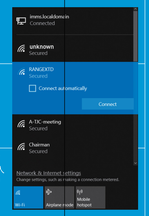
09

A. WiFiリピーターモードをワイヤレスで設定

A1.リピーターモードでは、モードセレクターを**「リピーター」**の位置に設定してください。 RangeXTDを壁のコンセントに差し込み、 デバイスの電源を入れます。

A2.ネットワークアイコン（ または ）をクリックし、スマートデバイスのWiFi設定にアクセスします。RANGEXTDを探し**「接続」**ボタンをクリックし数秒待機します。

A3.接続後、Webブラウザーを開きブラウザーのアドレスバーに**192.168.7.234**と入力します。 この番号は、このデバイスの初期IPアドレスです。



10

11

A4. ログイン画面が表示されます（以下画像参照）。 初期パスワードの入力：**admin** ログイン：**をクリック**

A5. ログイン後、**「リピーター」**ボタンをクリックしセットアップを開始します（以下画像参照）。

12

A6. リストからWiFi SSIDを選択します。 次にルーターのパスワードを入力します。 必要に応じRangeXTDリピーターの名前の変更も可能です。

情報を入力し **「適用」**ボタンをクリックし、デバイスを設定して再起動します。
再起動後、新しいWiFi SSIDに接続します。

13

B. イーサネットケーブルを使用してのWiFiリピーターモードの設定。

B1. RangeXTDを壁のコンセントに差し込み電源を入れます。 パソコン/ノートパソコンをRangeXTDにイーサネットケーブルで接続します。

B2. A3からA6の手順に従って設定します。

⚠ RANGEXTDのリセット

工場出荷時の初期設定に戻すには、ピンホールリセットボタンを10秒間押します。LEDインジケータはすべてオフになります。デバイスのリセット後、プラグを3秒間抜きます。再度プラグを差し込み約30秒間待ち、WiFiネットワークでパソコンまたはモバイルデバイスの「RANGEXTD」と呼ばれるネットワークを確認します。
*デバイスが既にネットワークに設定されている場合は、初期IPアドレス（192.168.7.234）にアクセスすることはできません。 アクセスには、デバイスのリセットが必要です。

説明動画については以下のQRコードをスキャンしてください。

14

15

ワイヤレス APモード設定

APモードを使用し「ワイヤレスアクセスポイント」を取得します。 このモードは、RangeXTDにワイヤレスで接続します。 このモードを使用すると、ワイヤレス対応していないルーターをワイヤレス対応にすることが可能です。

説明動画については以下のQRコードをスキャンしてください。

16

手順

1. モードセレクターは、アクセスポイントモードの**「AP」**位置に設定します。
2. RangeXTDを壁のコンセントに差し込み電源を入れます。イーサネットケーブルでルーターをRangeXTDに接続します。
3. 接続後、Webブラウザーを開きブラウザーのアドレスバーに192.168.7.234と入力します。 この番号は、このデバイスの初期IPアドレスです。
4. 以下のログイン画面が表示されます。 初期パスワードを入力：admin。 ログイン：をクリック

17

5.ログイン後、下記表示のWebページが表示されたら**「AP」**ボタンをクリックし、セットアッププロセスを開始します。

6.次のメッセージがWebブラウザに表示されます（以下画像参照）。RangeXTDのワイヤレス情報を入力します。SSID名を変更し認証モードを選択して、WiFiパスワードを作成することをお勧めします。

18

SSID	ワイヤレスSSID（RangeXTD）の作成
認証モード	ワイヤレスセキュリティと暗号化を設定し、不正アクセスと監視を防止します。 WPA、WPA2、WPA / WPA2暗号化方式をサポートします。
パスワード	パスワードの作成

「適用」ボタンをクリックします。 RangeXTDが再起動します。再起動完了後、スマートデバイス（スマートフォン、タブレット、パソコン、ノートパソコンなど）のWiFi設定を使用し、作成した新しいWiFi SSIDに接続します。

⚠ RANGEXTDのリセット

工場出荷時の初期設定に戻すには、RangeXTDの側面にあるピンホールリセットボタンを10秒間長押ししてから離します。LEDインジケータはすべてオフになります。 デバイスのリセット後、プラグを差し込み約30秒間待ってから、RangeXTDと呼ばれるネットワークのWiFi設定を確認します。
* RangeXTDが既にネットワークに設定されている場合は、初期IPアドレス（192.168.7.234）にアクセスすることはできません。 アクセスには、RangeXTDのリセットが必要です。

以下のQR コードをスキャンし、説明動画で手順を確認してください。

19

20

WIFIルーターモード設定

WiFiルーターモードでは、RangeXTDはモデムに接続し従来のワイヤレスルーターと同様に機能します。モデムからのインターネットアクセスの場合1人のユーザーでも利用可能ですが、更に多くのユーザーがインターネットへのアクセスを必要とする際に最適です。

以下のQR コードをスキャンし、説明動画で手順を確認してください。

21

手順

1. RangeXTD側面のモードセレクターをROUTERの位置に設定します。
2. デバイスを壁のコンセントに差し込みます。
3. 付属のイーサネットケーブルを使用し、DSLモデムをRangeXTDに接続します。
4. 接続後、Webブラウザーを開きブラウザーのアドレスバーに192.168.7.234と入力します。 この番号は、RangeXTDの初期IPアドレスです。
5. ログイン画面が表示されます（以下画像参照）。初期パスワードを入力：admin。 ログイン：をクリック

22

6.ログイン後、下記表示のWebページが表示されたら**「ルーター」**ボタンをクリックし、セットアップを開始します。

WAN接続タイプを選択します。

DHCPを選択の場合は、手順7に従ってください。

PPPoEを選択の場合は、手順7 *から*に従ってください。

23

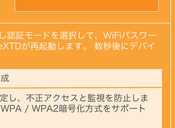
7.RangeXTDのワイヤレス情報、 SSID名を変更し認証モードを選択して、WiFiパスワードの作成をお勧めします。 **「適用」**をクリックするとRangeXTDが再起動します。 数秒後にデバイスの使用が可能になります。

SSID	ワイヤレスSSID（RANGEXTD）の作成
認証モード	ワイヤレスセキュリティと暗号化を設定し、不正アクセスと監視を防止します。 WPA、WPA2、WPA / WPA2暗号化方式をサポートします。
パスワード	パスワードの作成

7*.WAN接続タイプを選択します。 PPPoE（ADSLダイヤルアップ）を選択の場合は、ISPからアカウントとパスワードを入力してください。 これらのフィールドでは大文字と小文字が区別されます。

24

8*.スタティックIPを選択の場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS等を入力してください。



9*.RangeXTDのワイヤレス情報を入力します。 SSID名を変更し認証モードを選択して、WiFiパスワードの作成をお勧めします。 **「適用」**をクリックするとRangeXTDが再起動します。 数秒後にデバイスの使用が可能になります。

SSID	ワイヤレスSSID（RANGEXTD）の作成
認証モード	ワイヤレスセキュリティと暗号化を設定し、不正アクセスと監視を防止します。 RangeXTDは、WPA、WPA2、WPA / WPA2暗号化方式をサポートします。
パスワード	パスワードの作成

25

26

「適用」ボタンをクリックします。 RangeXTDが再起動します。再起動完了後、スマートデバイス（スマートフォン、タブレット、パソコン、ノートパソコンなど）のWLAN設定を使用し、作成した新しいWiFi SSIDに接続します。

⚠ RANGEXTDのリセット

工場出荷時の初期設定に戻すには、RangeXTDの側面にあるピンホールリセットボタンを10秒間長押ししてから離します。LEDインジケータはすべてオフになります。 デバイスのリセット後、プラグを差し込み約30秒間待ってから、RANGEXTDと呼ばれるネットワークのWiFi設定を確認します。
* RangeXTDが既にネットワークに設定されている場合は、初期IPアドレス（192.168.7.234）にアクセスすることはできません。 アクセスには、RangeXTDのリセットが必要です。

以下のQR コードをスキャンし、説明動画で手順を確認してください。

27

管理パスワードの変更

デバイスの初期パスワードは「admin」です。Webブラウザからアクセスするとログインプロンプトに表示されます。ワイヤレス機能が有効の場合はセキュリティ上のリスクがあるので、初期パスワードの変更が重要です。

パスワードの変更は、次の手順に従ってください。
管理インターフェース設定の**「パスワードの変更」**ボタンをクリックします。 次のメッセージがWebブラウザに表示されます（以下画像参照）。

28

「適用」ボタンをクリックすると、RangeXTDがログオフします。
既存のパスワードを忘れた場合は、RangeXTD側面のピンホールリセットボタンを10秒間押すとパスワードをリセットできます。 LEDインジケータはすべてオフになります。 デバイスのリセット後、3秒間プラグを抜きます。 再度プラグを差し込み約30秒間待ってから、 「RANGEXTD」と呼ばれるネットワークのWiFi設定を確認します。

29

ファームウェアのアップグレード

このデバイスで使用されるシステムソフトウェアはファームウェアと呼ばれ、コンピューター上のアプリケーションと同様です。ファームウェアをアップグレードする事でデバイスに新しい機能が搭載されます。 このアップグレード機能を使用し、デバイスに新しい機能を追加する事も可能です。また、一般的なバグやその他の問題の修正も可能になります。

更新は、管理インターフェイス設定の**「ファームウェアのアップグレード」**をクリックすると、次のメッセージがWebブラウザに表示されます。

30

「参照」または**「ファイルの選択」**をクリックします。
「ファームウェアアップグレード」ファイルを提供するように表示されます。 弊社ウェブサイトから最新のファームウェアファイルをダウンロードし、それを使用してデバイスをアップグレードしてください。
「ファームウェアのアップグレード」の選択後、「アップロード」をクリックします。 デバイスはすぐにファームウェアのアップグレードを開始します。 これには数分かかる場合があります。

注記：
・アップグレード中にWebブラウザーを閉じる、コンピューターをデバイスから切断するなどしないでください。 ファームウェアのアップグレードが中断すると失敗します。 これでも解決できない場合は、カスタマーサポートにお問合せください。
・アップグレードが中断された場合、保証は無効となります。

31

パソコン/ノートパソコンのデバイス接続方法

デバイスへのワイヤレスコンピューター追加

1. コンピューターにログオンします。
2. 通知領域のネットワークアイコン（ または ）をクリックし、希望のネットワークに接続します。
3. リストからワイヤレスネットワークを選択し、**「接続」**をクリックします。
4. プロンプトが表示されたらネットワークセキュリティキーを入力し**「OK」**をクリックします。 ネットワークに接続すると確認メッセージが表示されます。
5. コンピューターに追加されたことを確認するには：
   - Windowsの**「スタート」**ボタン（ ）をクリックし、Windowsシステム下のコントロールパネルに移動し、ネットワークを開きます。
   - **「検索ボックス」**に**「ネットワーク」**と入力し、**「ネットワークと共有センター」**で**「ネットワークコンピューターとデバイスの表示」**をクリックします。
   - 追加したコンピューター、およびネットワークの一部である他のコンピューターとデバイスのアイコンが表示されます。

注記：
ネットワークフォルダにアイコンが表示されない場合は、ネットワークの検出とファイル共有がオフになっている可能性があります。

32

デバイスセットアップに問題がありますか？お困りの際はご相談ください！

緊急のお問い合わせは、https://support.my-rangextd.com/ にアクセスするか、QRコード（右側）をスキャンしてください！

33

WEEE指令および電子機器廃棄
廃棄物処理法、この製品を家庭廃棄物または一般廃棄物として扱うことはできません。 電気・電子機器のリサイクル収集場所または、サプライヤーに返送して廃棄してください。

FCCID NO: 2AX4F-30579

FCC規則
このデバイスはFCC規則第15部に準拠しています。以下の2つの条件に従って動作します：(1) このデバイスが有害な電波干渉を発生させることはない、および (2) このデバイスは、誤動作を発生させる可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要がある。
コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

34

注記: この装置は、テストの結果、クラスBデジタルデバイスの制限に適合し、FCC規則第15部に準拠していることが認められました。これらの制限は、住宅の設置によって生じる有害な干渉からの適切な保護を目的として規定されています。この装置は高周波エネルギーを発生、使用し、また放射することがあるため、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、干渉が生じないことが保証される特別な設置方法はありません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を発生させる場合（装置の電源をオンにオフすれば判別できます）、干渉を防止するための以下の1つまたは複数の対処方法を試すことをお勧めします：
・受信アンテナの方向または位置を調整する。
・当該装置を受信装置から遠くに設置する。
・当該装置を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続する。
・販売店または経験豊富な無線/テレビ技術者に問い合わせる。

放射線被ばくに関する声明
この装置は制御不能な環境における IC 放射線被ばくに関する制限に準拠しています。この装置はデバイスと人体が最低 20cm 離れた状態で設置および操作してください。

カナダ産業省規制
この装置はカナダ産業省規則の RSS210 規格に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従います：
(1) この装置は有害な干渉を発生しない、および、(2) この装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる。
このクラス [B] デジタル装置は、カナダのICES-003に 準拠しています。
この装置は、制御不能な環境に対して定められたカナダの放射線被ばく制限に準拠しています。 この装置はデバイスと人体が最低20cm離れた状態 (実際の計算結果に応じ調整されも場合があります) で設置および操作してください。
この送信機を他のアンテナまたは送信機と共に場所に配置したり、一緒に操作したりしないでください。

35